

令和2年8月

定例教育委員会会議

会議録

令和2年8月11日開催

会 議 録

開催日時	令和2年8月11日（火）		午後2時	開会
			午後4時	1分 閉会
場 所	旭川市教育委員会 会議室			
出席者	教育長 及び委員	教育長 黒蕨 真一， <small>教育長職務代理者</small> 本田 哲嗣，委員 滝山 義之 委員 近藤 美保，委員 山崎 與吉		
	事務局	説明員	学校教育部長 山川 俊巳 社会教育部長 高田 敏和 学校教育部次長 林上 敦裕 社会教育部次長 酒井 睦元 学校教育部次長 岩崎 昌美 文化振興課長 高桑 和寿 学校教育部次長 佐藤 潤一 中央図書館長 西野 明子 教職員担当課長 佐藤 文泰 教育指導課主幹 辻並 浩樹	
		事務局員	教育政策課 上江 昌弘 同 宮嶋 健吏 学務課 及川 修二	
傍聴者	0人			
公開・非公開の別	一部非公開			
会議次第	1 開会 2 会議録署名委員 3 前回会議録 4 審議事項 ・議案第1号 旭川市文化賞選考委員会委員の委嘱について ・議案第2号 令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいの対象者について ・議案第1号 令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について ・報告第1号 学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について ・報告第2号 旭川市教育委員会事務局職員等の人事異動（臨時代理）について ・報告第3号 旭川市立小中学校教職員人事の内申（臨時代理）について 5 報告事項 (1) 令和2年第4回臨時市議会の報告について (2) 令和3年旭川市成人を祝うつどいの開催について (3) 第4次旭川市子ども読書活動推進計画の策定について (4) 令和2年度旭川市文化賞授賞候補者の推薦受付結果について 6 その他 7 閉会			

審 議 内 容	
発 言 者	発 言 要 旨
教 育 長	<p>《 開 会 》</p> <p>ただいまから、令和2年8月定例教育委員会会議を開会いたします。</p> <p>《会議録署名委員》</p>
教 育 長	<p>本日の会議録署名委員は、本田委員、山崎委員を指名します。</p> <p>《 前回会議録 》</p>
教 育 長	<p>会議録ですが、令和2年4月定例教育委員会会議（令和2年4月21日開催）、令和2年5月第1回臨時教育委員会会議（令和2年5月6日開催）、令和2年5月定例教育委員会会議（令和2年5月22日開催）、令和2年6月定例教育委員会会議（令和2年6月29日開催）、令和2年7月定例教育委員会会議（令和2年7月27日開催）及び令和2年8月第1回臨時教育委員会会議（令和2年8月4日開催）の会議録については、現在調製中でございますので、調製後、承認するというところでよろしいですか。</p>
各 教 育 委 員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、令和2年4月定例教育委員会会議、令和2年5月第1回臨時教育委員会会議、令和2年5月定例教育委員会会議、令和2年6月定例教育委員会会議、令和2年7月定例教育委員会会議及び令和2年8月第1回臨時教育委員会会議の会議録については、調製後、承認することといたします。</p>
教 育 長	<p>《 審 議 事 項 》</p> <p>それでは、審議事項に入ります。</p> <p>議案第1号「旭川市文化賞選考委員会委員の委嘱について」、議案第2号「令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいの対象者について」、令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」、報告第1号「学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について」、報告第2号「旭川市教育委員会事務局職員等の人事異動（臨時代理）について」、報告第3号「旭川市立小中学校教職員人事の内申（臨時代理）について」、報告事項（2）「令和3年旭川市成人を祝うつどいの開催について」及び報告事項（4）「令和2年度旭川市文化賞授賞候補者の推薦受付結果について」は、その性質上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により秘密会といたしたいと思っておりますが、いかがですか。</p>
各 教 育 委 員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、議案第1号「旭川市文化賞選考委員会委員の委嘱について」、議案第2号「令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいの対象者について」、令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」、報告第1号「学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について」、報告第2号「旭川市教育委員会事務局職員等の人事異動（臨時代理）について」、報告第3号「旭川市立小中学校教職員人事の内申（臨時代理）について」、報告事項（2）「令和3年旭川市成人を祝うつどいの開催について」及び報告事項（4）「令</p>

和2年度旭川市文化賞授賞候補者の推薦受付結果について」は、秘密会とし、他の議案等の後に審議することといたします。

《 報告事項 》

教 育 長

それでは、報告事項に入ります。

学校教育部長

報告事項(1)「令和2年第4回臨時市議会の報告について」、報告願います。

所管事項に係る質疑の概要について、御報告申し上げます。

会期につきましては、令和2年7月22日の1日間で、学校教育部に係る議案は令和2年度旭川市一般会計補正予算でした。

最初に、第4回臨時会前の7月20日に、経済文教常任委員会の開催があり、公明党の高花委員から、教職員の不祥事に関わり、8項目について、日本共産党の能登谷委員から、夏季休業中の学校給食に関わり、5項目について、同じく日本共産党の能登谷委員から、職業体験、地域人材銀行に関わり、10項目について質問がございました。

令和2年度予算の補正に係る本会議が7月22日に行われ、質問者3人中、自民党・市民会議の上村議員から、小中学校のトイレの洋式化の現状と課題認識など11項目について質疑がございました。

教 育 長

報告事項(1)「令和2年第4回臨時市議会の報告について」、御意見、御質問等がありますか。

本 田 委 員

教職員の不祥事の防止については、各学校において一層努めなければなりません。

教 育 長

これまでも教育委員会で指導してまいりましたが、同一案件が度重なっていることから、教育長の訓示だけではなくて、不祥事防止や服務規律の徹底、特にSNSを通じた犯罪防止等について、校長会での説明や、各学校に対する指導を行うことを含めて、丁寧にかつしっかりと学校と連携していくことを努めてまいります。

他に御意見、御質問等がありますか。

各 委 員

ありません。

教 育 長

それでは、報告事項(1)「令和2年第4回臨時市議会の報告について」は、報告を受けたこととします。

次に、報告事項(3)「第4次旭川市子ども読書活動推進計画の策定について」、報告願います。

中央図書館長

子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、本市の子ども読書活動の促進のため、平成17年9月に第1次旭川市子ども読書活動推進計画、続けて平成22年3月に第2次計画、平成27年3月に第3次計画を策定し、各種の事業等を進めてまいりましたが、今年度で第3次計画期間が終了しますことから、第4次旭川市子ども読書活動推進計画の策定作業に着手しております。これまでに、アンケート調査の実施や各種事業・統計の整理分析を行い、基本的な方向性について検討しております。

次に、進め方についてですが、関係部局との調整会議による検討・整理と、図書館協議会への諮問と答申を受けた後、計画案を取りまとめ、意見提出手続の実施などを経て、最終案を作成する予定としております。

今後、作業を進めていきます中で、重要な決定を伴う場面におきましては、教育委員会会議で御審議、御決定をいただくこととなりますので、よろしくお願いたします。

教 育 長

報告事項(3)「第4次旭川市子ども読書活動推進計画の策定について」、御意見、御質問等がありますか。

各 委 員

ありません。

教 育 長

それでは、報告事項(3)「第4次旭川市子ども読書活動推進計画の策定について」は、報告を受けたこととします。

			《 そ の 他 》
教 各 事	育 委 務	長 員 局	他に、何かありますか。 ありません。 ありません。
			《 秘 密 会 》
教	育	長	ここからは、秘密会といたします。 ここで皆さんにお諮りいたします。 議案第1号「旭川市文化賞選考委員会委員の委嘱について」、報告第1号「学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について」、報告第2号「旭川市教育委員会事務局職員等の人事異動（臨時代理）について」、報告第3号「旭川市立小中学校教職員人事の内申（臨時代理）について」及び報告事項（4）「令和2年度旭川市文化賞授賞候補者の推薦受付結果について」ですが、旭川市教育委員会会議規則のとおり、会議録には概要を記載することといたしたいと思っておりますが、いかがですか。
各 教	委 育	員 長	異議ありません。 「異議なし。」と認め、議案第1号「旭川市文化賞選考委員会委員の委嘱について」、報告第1号「学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について」、報告第2号「旭川市教育委員会事務局職員等の人事異動（臨時代理）について」、報告第3号「旭川市立小中学校教職員人事の内申（臨時代理）について」及び報告事項（4）「令和2年度旭川市文化賞授賞候補者の推薦受付結果について」は、会議録には概要を記載することといたします。 また、議事運営の都合上、令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書採択について」は、最後に取り扱いたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
			<議案第1号「旭川市文化賞選考委員会委員の委嘱について」> 令和2年8月11日から同年11月3日までを任期とする旭川市文化賞選考委員会委員を委嘱することについて説明があり、審議の結果、原案どおりこれを決定した。
教 育		長	次に、議案第2号「令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいの対象者について」、説明願います。
酒井社会教育部次長			民法の改正により、令和4年の4月1日から、成年年齢が18歳に引き下げられますが、これを受け、令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいの対象者の年齢を何歳とするかについて、御審議いただくものです。案としましては、対象者につきまして、現行の対象年齢を変更せずに、当該年度の4月2日から翌年4月1日までの間に20歳となる者としてすることを考えております。この理由について説明いたします。 対象者を20歳とする理由として6つを挙げておりますが、まず1つ目として、20歳は18歳と比較して、学生や社会人としての経験を積むことなどにより、社会の規範を理解し、より強い自覚を持って社会に貢献できるようになっており、また飲酒・喫煙も許されるなど、成人としての自覚を改めて促す大きな節目の年齢であることを挙げています。 2つ目は、18歳を対象とした場合に、受験や就職準備時期と重なるため、負担が大きく、出席者の減少も予想されることを挙げています。 3つ目は、20歳という年齢が、高校卒業後に同窓生が集まり交流を深める時期としてふさわしく、式典終了後の同窓会の開催などにもつながりやすいということを挙げています。

4つ目は、学校の制服ではなく、振袖での参加者が増えることで、和装文化の継承にも寄与することを挙げています。

5つ目は、令和4年度以降に18歳を迎える方の保護者を対象に旭川市教育委員会が行ったアンケートで、約65%の方が、20歳での開催を希望していることを挙げています。

6つ目は、全国の中核市を対象としたアンケート及び道内の主要都市を対象としたアンケートのいずれにおいても、対応方針を決定している市の全てが、20歳を対象とする予定としていることを挙げています。

このほか、関連事項として、式典内容及び開催時期についても説明いたします。

まず、式典内容についてですが、20歳という年齢で集う意義を整理し、それにふさわしい行事として、式典の内容や名称を見直すことが必要であり、これについては、今後具体的な検討を行っていかねばならないと考えております。

最後に、開催時期ですが、成人の日の前日の日曜日、3連休の中日を予定しております。昨年度までは成人の日当日に開催をしておりましたが、来年1月の成人式から、その前日に変更をすることとしております。これは3連休の中日とすることで、遠方から帰省しての参加がしやすくなることを狙ったものであり、来年度以降もこれを継続したいと考えております。

参考資料として、国の有識者会議の報告や、各種のアンケート調査結果、また、昨年度の成人を祝うつどい実行委員会のメンバーからの意見などが掲載されておりまして、いずれについても、対象年齢を20歳とするのが良いという意見が多数を占めています。

また、この件については、市内の各地区まちづくり推進協議会委員の方々にも御意見を伺い、約9割の協議会委員の方から御賛同をいただいたほか、7月3日に開催しました社会教育委員会議においても協議をいただき、原案どおり御了承をいただいたところでございます。

教 育 長

議案第2号「令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいの対象者について」、御意見、御質問等がありますか。

本 田 委 員

今回は対象者の年齢についてのみ審議を行うということですか。それとも、式典の内容や名称の見直しの検討を行うのですか。

酒井社会教育部次長

対象者の年齢についてのみ決定をすることを考えております。式典の内容や名称の見直しにつきましては、成年年齢が18歳となったことから、成人式という名称を使えないため、内容や名称を整理した段階でお知らせしたいと考えております。

本 田 委 員

ある程度の見通しを持って進めていく必要があると思います。

教 育 長

名称については、多くの方の賛同を得られるようなものを整理し、市議会に対しても、内容も含めて見通しを持って説明していきたいと考えております。

他に御意見、御質問等がありますか。

各 委 員

ありません。

教 育 長

それでは、議案第2号「令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいの対象者について」は、原案どおり決定することで御異議ありませんか。

各 委 員

異議ありません。

教 育 長

「異議なし。」と認め、議案第2号「令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいの対象者について」は、原案どおり決定します。

<報告第1号「学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について」>

令和2年8月1日から令和3年3月31日までを任期とする学校運営協議会委員を任命することについて、教育長が臨時に代理した旨を報告し、報告のとおり了承した。

<報告第2号「旭川市教育委員会事務局職員等の人事異動（臨時代理）について」>

令和2年7月1日から同年8月1日付けまでの旭川市教育委員会事務局職員等の人事異動について、教育長が臨時に代理した旨を報告し、報告のとおり了承した。

<報告第3号「旭川市立小中学校教職員人事の内申（臨時代理）について」>

令和2年7月10日から同月21日付けまでの北海道教育委員会に対し内申した旭川市立小中学校教職員人事について、教育長が臨時に代理した旨を報告し、報告のとおり了承した。

教 育 長
酒井社会教育部次長

次に、報告事項(2)「令和3年旭川市成人を祝うつどいの開催について」、報告願います。

はじめに、日時及び会場ですが、開催日は、令和3年1月10日の日曜日となっております。既に御案内のとおり、昨年度までは成人の日の当日に開催しておりましたが、今回から、遠方から帰省して参加する方が出席しやすいように、成人の日の前日の日曜日、3連休の中の日へと変更することとしました。会場は例年どおり市民文化会館を予定しております。

次に時間ですが、例年は午前と午後の2部開催としていたところを、今回は、午前の部、昼の部、夕方の部の3部開催とすることを予定しています。これは、新型コロナウイルス感染症対策として、3部開催とすることで、1回当たりの出席者数を抑え、密集・密接状態を回避することを目的としたものでございます。これにより1回当たりの出席者数は、国などが示す指針である会場の定員の50%以下に抑えられる見込みとなります。

また、開始時間につきまして、午前10時50分、午後2時30分など例年とは違った設定となっておりますが、これは同日に消防出初め式が総合体育館で開催される予定でありまして、市長や市議会議長が出初め式と成人を祝うつどいの両方に出席をする必要があるため、消防本部と調整を行った結果、このような時間設定になったものでございます。

主催につきましては、例年どおり、旭川市成人を祝うつどい実行委員会、旭川市、旭川市教育委員会の3者による共催となっております。

対象者数につきましては、今年度20歳を迎えられる、2,595人の方々となっております。

式次第につきましては、例年どおり、開会、オープニング、実行委員長挨拶、式典、アトラクションといった構成を基本に考えておりますが、これにつきましても、新型コロナウイルス感染防止の観点から、オープニングやアトラクションの短縮や取りやめ、また壇上に上がる人数を減らし、挨拶自体も短いものにしていただくなど、所要時間の短縮を図りたいと考えております。なお教育委員の皆様方につきましては、例年壇上にお席を用意しお名前を紹介させていただいておりましたが、今回は3部開催となり、朝から夜までと時間も長く、全てに御参加いただくのは御負担も大きいだろうと考えまして、壇上にお席は用意しない方向で予定しております。ただ、御案内はさせていただこうと考えておりますので、御出席いただける際には、客席の一部にスペースを用意し、対応させていただく予定です。また例年は、午前の部と午後の部の間に、教育委員会会議等を開催させていただいておりましたが、これについては平日に、日を改めて開催することと考えております。この点について、このような方向で進めさせていただいてもよろしいかどうか、後ほど御意見をいただければと存じます。

最後に、新型コロナウイルス感染防止策についてですが、はじめに御説明した分散実施による密集・密接の回避、また式典内容の見直しによる所要時間の短縮に加え、参加者に対しても、マスクの着用や手指の消毒、ま

た私語を慎むよう呼びかけるなど、対策の徹底をお願いをしなければなら
ないと考えております。また、今後再び緊急事態宣言が発令された場合な
どには、開催日の延期等も想定しております。なお横浜市のように、一堂
に会しての成人式を中止しオンライン開催への変更を決めた自治体もござ
いますが、旭川市においては、着物業界などから、成人式を中止するとな
ると死活問題であり、何としても中止は避けてほしいとの声も上がってお
り、何より新成人の皆さんにとっては一生に一度の行事であり楽しみにし
ている方も多いためと思いますので、できるだけ中止にはしない方向で考え
ているところです。

資料2枚目は、実行委員会の名簿となっております。今年は9名の新成
人の皆さんがメンバーとなっております。今月13日に第1回目の会議の
開催を予定しており、ただ今御説明した事業計画や予算案などについて、
具体的に検討を行う予定となっております。

資料3枚目は、3部制の地区割り表となっております。例年の時間帯を
できるだけ踏襲した上で、永山、神居、神楽・西神楽地区については、夕
方の部に移すことといたしました。

教 育 長 成人の日の前日に開催することは、以前御確認いただいていることと思
います。コロナ対策ということで、3部構成にしていきたいという内容で
ございます。

報告事項(2)「令和3年旭川市成人を祝うつどいの開催について」、御意
見、御質問等がありますか。

本 田 委 員 密を回避したいということなら分かりますが、3部構成では教育委員の
負担になるから出席をしないというのは違うと思います。私たちは主催者
側でもあります。

酒井社会教育部次長 検討してまいります。

教 育 長 他に御意見、御質問等がありますか。

各 委 員 ありません。

教 育 長 それでは、報告事項(2)「令和3年旭川市成人を祝うつどいの開催につ
いて」は、報告を受けたこととします。

<報告事項(4)「令和2年度旭川市文化賞授賞候補者の推薦受付結果につ
いて」>

令和2年6月15日から同年7月31日までの受付期間における令和2
年度旭川市文化賞授賞候補者の推薦受付結果について、報告を受けた。

教 育 長 暫時休憩いたします。

(事務局入れ替え)

教 育 長 再開いたします。

前回に引き続き、令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年
度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」を議題とい
たします。経過の確認をしながら進めさせていただきます。

このことにつきましては、前回及び前々回の2回の教育委員会会議で、
旭川市教科書調査委員会による専門的な調査研究の結果の報告と質疑、そ
して協議を行いまして、採択基準にあるとおり全ての種目について、全て
の発行者の教科用図書の見本の審議を一通り終えたところでございます。

また、全16種目のうち発行者が4者以上ある10種目について、審議
の効率化と充実を図る観点から、重点的に審議する発行者の絞り込みを行
う作業を進めてきたところです。

本日は、種目ごとに最終段階の審議を行い、種目ごとに1者の教科用図
書を採択することとしたいと思います。

種目ごとに、それぞれ委員の皆様から、本市の採択方針を踏まえて、御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

なお、皆様の意見が一つになることが最も良いことだとは思いますが、全てが一致しない場合もあるかと思っております。その際には、皆様で議論を尽くしたいと思っておりますが、難しい場合は、多くの御意見のあった発行者を採択することとしたいと思っております。

本日は国語、書写、地理、地図、歴史、公民、数学の審議を行いたいと思っております。次回に理科、音楽一般、器楽合奏、美術、技術、家庭、保健体育、英語、道徳、特別支援を行いたいと思っております。

それでは、国語の審議に入ります。本市の採択方針を踏まえまして、発行者及び選んだ理由・視点について併せて御意見をいただきたいと思っております。御発言の順番は、前回の審議と同様に、本田委員、滝山委員、近藤委員、山崎委員、私の順番で進めさせていただきたいと思っております。

本 田 委 員

1者に絞れたら良いのですが、光村図書と教育出版について重点的にお話をさせていただきます。

光村図書については、情報活用の方法について学習した後、学習したことを生かして文章を書く活動を設定する工夫がなされていたということで、調査委員会からの報告があり、その視点で見ました。巻頭の「学習の見通しをもとう」、「思考の地図」でそのような工夫がなされているように思いました。とりわけ、2年生の「盆土産」、「モアイは語る」などは、良い作品だと思いますし、古典にあっては、他者も載せてありましたが、平家物語の「扇の的」、「徒然草」、「漢詩三編」、なお「敦盛の最期」については後半部分が載っていたことが印象的でした。

教育出版については、学習過程を明確にしている印象を持ちました。読むことの領域における文芸作品と、説明文や論説文の割合は適正だと思われました。2者ともガイダンスの機能については、工夫がされていますが、とりわけ教育出版においては、学習活動の流れで、生徒にとって分かりやすく整理されていました。「ガイアの知性」、「夏の葬列」については、良い作品が載せられていると思われました。

教科書づくりの仕方は、両者さほど変わらないと思っております。前回に比べて、教育出版は工夫が増えた印象です。私自身この2者を決めかねているため、皆さんの意見を伺いながら決定していけたらと思っております。

滝 山 委 員

私は、光村図書が良いと思っております。

I C Tの活用や小中連携について配慮がされているということと、本市の課題である、読む、書く、身に付けた言葉の力を活用する、この3つの分野で全てに光村図書は工夫されており、中学校の教科書としてバランスが取れていると思われました。

近 藤 委 員

私も、本田委員と同じで、教育出版と光村図書を選んで、今も決めかねているところです。

基本的な教科書づくりはあまり変わらないのですが、教育出版は本田委員もお話しされていたように、前回の小学校のときと今の中学校の教科書から、作り方を変えてきているのではないかと思います。両方とも、本市の生徒の弱点を克服するためのポイントとして、観点を言語化して力を定着させる振り返りもしっかりしていますし、情報整理をして能力向上を図るための活動の設定、国語ならではの文学作品、その他のジャンルの作品を読んで理解する力を向上するための工夫もされていると思われました。

光村図書の方が、国語の教科書としてはスタンダードな感じがします。あまり今までと変わっていないと思っております。

そちらを選ぶのが良いのか、教育出版は少し違うのが、学習の流れが明確に示されていることと、他の教科と繋がるコラムがあり、現代にマッチしている教科書は教育出版だと思いい、どちらを選んでいいかをまだ迷っているため、私も皆さんの御意見を最後まで聞いてからどちらかに決めたい

山崎委員	<p>と思います。</p> <p>私は、光村図書を選びました。</p> <p>文章を読んで、考えたことを話し合い、理解を深めていき、振り返りを行うという一連の流れが良かったと思います。また、学んだ内容を問題形式にしている工夫もあったことから、光村図書としました。</p>
教育長	<p>私も、光村図書を選びました。</p> <p>前回で、東京書籍と光村図書を挙げておりましたが、実は教育出版も、SDGsにおいて非常に特徴的な記載があったり、また、「言葉の地図」で、巻頭の部分も非常に興味深い構成になっておりました。</p> <p>光村図書の特徴を御説明しますと、生徒が見通しを持ちながら主体的に学習に取り組むことができるように、単元ごとに「学習」というページを用いて、目標があり、それから「捉える」、「読み深める」、「考えをもつ」、「振り返る」などがしっかりと明確に示されていて、段階的に課題解決の方法、考え方をまとめるための学びを深めることができる工夫があったと思います。</p> <p>また、情報の扱いについて、見開きで解説するコンパクトな教材、「思考のレッスン」、「情報整理のレッスン」、これらを受けて、話すこと・聞くこと、書くこと、そういった教材や説明的な文章と関連付けて、全ての学年で設定をしていることで、情報を活用して表現をし、思考を深める部分については特徴があったと思います。</p> <p>加えて、巻頭の「思考の地図」、それから巻末の「学習を広げる」が分かりやすいことと、小委員会からも地域素材、ICTの活用、小中連携の指導、こういった面からも配慮されているという報告もありましたので、生徒の学習の状況に適しているのではないかと考え、光村図書としました。</p> <p>今一巡した中では、教育出版と光村図書の両方という方はおりましたが、光村図書については全員賛成となっております。他に御説明、御意見はありますか。</p>
本田委員	<p>皆さん光村図書については言及されているので、私はそこに落ち着いて特に問題はないと思います。</p> <p>ただ、近藤委員の言われたように、教育出版が工夫をされていることは、今後楽しみにしたいというか、これから求められる新学習指導要領に照らしたときにそれが有効であることであれば、今後更に工夫を重ねられることを期待したいということで、まとめていいと思います。</p> <p>要するに、光村図書に大きな欠点があるかというとないわけで、題材としても同じ作品を取り扱っているものもあり、とりわけ問題はないと思います。</p>
教育長	<p>本田委員から御意見がありました、いかがでしょうか。</p>
近藤委員	<p>私も光村図書はもちろん良かったと思います。</p> <p>ただ、教育出版が目新しい感じで、興味を持ったというところで、本田委員と同じ意見です。皆さんと同じ意見で、光村図書で全く構わないのですが、今後の期待を持っておこうと思います。</p>
教育長	<p>どこが悪いというよりも、ここが良いというところで最終的に選んでいければと思います。</p> <p>それでは、御意見がまとまったかと思います。国語については、審議の結果、光村図書に決定することよろしいですか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>それでは、国語は光村図書に決定します。</p> <p>続きまして、書写の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思います。</p>
本田委員	<p>私は、教育出版を推薦したいと思います。</p> <p>国語というよりも、国語科書写のねらいそのものに照らして、一番具現化されていると思いました。硬筆のための毛筆ということは、ずっと貫い</p>

ていますし、今回の学習の手順についても、そこがしっかりと守られているので、ねらいを外していない教科書は教育出版と思っています。

滝山委員

他者については、やはり作品主義的というか、果たして発達課題に照らして、こういった毛筆の文字を書かせることが生徒にとって有益かといったときに非常に難しい教科書もあったりして、そういうことも鑑みて、教育出版にしたいと思います。

私も、教育出版としました。

本市の課題である毛筆の学びの日常への活用、身に付けた力を自覚する「まとめ書き」などに関して、生徒が取り組みやすいように工夫されていると思いました。「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」などが、単元ごとに設定され、生徒に自然と書写の力が身に付くように配慮されていると感じました。

近藤委員

私も、教育出版を選びました。

書道としての基本がしっかり学べるということと、学んだことを硬筆に生かすという単元の設定が最も優れていました。さらに、毛筆を生活に生かすという場面の設定もなされていて、教育出版を選びました。

山崎委員

私も、教育出版が良いと思います。

作品をつくることが目的ではなく、課題意識や見通しを持って学んでいくために、試し書き、まとめ書きの工夫がよりなされていたのは教育出版だと思いました。

教育長

私も、教育出版と考えました。

冒頭に書写における学習の丁寧な説明があって、毛筆の題材をもとに、硬筆の「試し書き」によって、生徒自らが課題意識を持てるような工夫があること、また、毛筆で書いた後に、硬筆で「まとめ書きと応用」を行って、毛筆の学びを硬筆で確認ができる工夫もされていることから、書写の学びを日常生活に生かすことに適しているのではないかと思います。加えて、生徒の文字への興味関心を高めるためのコラムや、単元の題材の内容が他者に比較して充実していたということで、文字文化の豊かさを実感させるための配慮という点で優れていると思いました。文字の正しい書き方、多様な表現方法、効果的・実用的な活用の仕方、文字の歴史や文化など言語文化や言語活動に対する内容として優れていると考えました。

全員が教育出版という御意見がありましたので、書写については、審議の結果、教育出版に決定することによろしいですか。

各教育委員

はい。

それでは、書写は教育出版に決定します。

続きまして、地理の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思えます。

本田委員

教育出版と帝国書院の2者で決めかねています。

前回の審議で絞り込んだ東京書籍、教育出版、帝国書院のそれぞれの特徴をお話させていただけたらと思います。

帝国書院と東京書籍では、巻末に「世界の農産物」というのがあって、写真と共に説明がなされていました。教育出版は説明なしの写真のみということで、そこで違いをまず一つ感じました。

なお、帝国書院におきましては、思考力、判断力、表現力を付けるために、「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」で、各章にまとめて、そういった活動を促すための設定があって、各節における学習の振り返り、まとめ方などで指導のしやすさ、学びやすさを感じました。

東京書籍については、「基礎・基本のまとめ」、「まとめの活動」、「探求課題」、「見方・考え方」で表記はされているものの、まとめが若干見づらいという印象を持ちました。その中では、調べ活動が丁寧なのは、帝国書院と教育出版というところであります。

あとは、皆さんの意見を聞いて、決めていきたいと考えております。

滝山委員	<p>私は、帝国書院が良いのではないかと思います。</p> <p>地域素材，I C Tの活用，デジタル地図の合理的な活用，小学校との連携，さらに地域の在り方を考えるなどの問題点を掘り起こし，考える力を養う点が良かったです。また，各節の終わりに，学習を振り返る問題が充実しており，生徒の確実な理解に役立つと考えました。</p> <p>東京書籍，教育出版も本市の学習課題によく対応しておりますが，この中では帝国書院が一番分かりやすいと思いました。</p>
近藤委員	<p>私は，教育出版を選びました。</p> <p>3者とも，単元のはじめにきちんと学習課題を明確にして，自ら考えることを促す教科書のつくりになっていました。特に，教育出版は他の教科でもそうなのですが，小学校の学びを含めて学習の振り返りがとても適切，丁寧に設定されており，学力の定着が見込まれるような教科書だと思います。そして，日本から世界へとつながることが学べる設定の教科書だと思います。</p> <p>あまり3者とも違いがなかったのですが，教科書の見やすさ，学力の定着という点を最終的に考えときに，教育出版が生徒たちには合っているのではと思いました。</p>
山崎委員	<p>私も，教育出版を選びました。</p> <p>小中連携の観点から，地図帳の使い方など小学校で学んだことを丁寧に振り返ることができると思いました。また，日本だけではなく，例えば人口問題など，海外で生じている課題について話合うことで，多面的・多角的に考察できる力を培うことができるのではないかと思います。</p>
教育長	<p>私は，帝国書院を選びました。</p> <p>教育出版は，選んだ方もおっしゃっているとおり，学習の導入の工夫や，学習のまとめの点で工夫されていました。特に，地域素材の点で言えば，北海道に関連してアイヌの人たちの文化，今日的な自然災害についても，非常にバランス良く構成されていると認識しました。</p> <p>帝国書院とした理由は，一つが地理的な見方，考え方を働かせて，話し合ったりすることができるように巻頭の説明に加えて，章末の「章の学習を振り返ろう」で，知識の確認や地理的な見方，考え方を働かせて整理をする点で，工夫があったと思います。章のそれぞれの問いに関連の深い見方，考え方というような工夫ができて，話し合いもできる形になっていたと思います。</p> <p>さらに，地理を学習する上での基礎的な技能を身に付けるということで，「技能をみがく」というテーマが23ほど設けられています。教育出版は8でしたので，この点については，帝国書院の方が技能，地図の見方，関連の資料・データの点でも豊富だったと思います。</p> <p>生徒が見通しを持って学習に取り組めるように，世界及び日本の諸地域の学習において，章の前に序章を設けてあり，そこでこの章は何を学ぶのかを確認できる形になっており，それと合わせて各章の説明が自然環境，文化，産業，課題，テーマ設定が同じく全てが統一されていて，考え方が非常に鮮明になっているのではないかと思います。</p> <p>加えて，細かいところでは，環境，防災，共生をテーマとしたSDGsについても積極的に取り上げておりましたし，実社会の人々の話というコラムがありました。「節の学習を振り返ろう」で，持続可能な社会を考えようというテーマもあり，今日的な部分や，実際の生の声というところも含めて，帝国書院の方が優れた点が多かったのではないかと思います。</p> <p>今一巡した中では，教育出版が3人，帝国書院も3人となっております。意見が変わらないということでも良いですし，他の方の意見を踏まえて，考え直しもあるかもしれませんので，二巡目ということで，改めて皆さんから御意見を聞ければと思います。本田委員が2者挙げていただいておりますので，最初に御意見をいただければと思います。</p>

本 田 委 員	<p>教育長が、様々な項目から違いを述べられていたのですが、正直私の印象も教育出版は知識・技能に足場を置いた教科書づくりをされているように思います。</p> <p>覚えるべきことは覚えるべきなのですが、今次改訂の学習指導要領は、3つの柱があり、思考力・判断力・表現力を生かして資質を高めるというねらいから考えると、帝国書院の「節の学習を振り返ろう」のまとめ方としては、理に適っていると思います。</p> <p>従前の暗記科目としての社会であれば教育出版が一步秀でていると思います。求められているのは何かというと、受信型の学習から発信型の学習へと考えれば、帝国書院が良いと思いました。</p>
滝 山 委 員	<p>地理の教科書なので、地図が要所に出てきます。その中で帝国書院の地図は、色々工夫がされていて、地理の教科書としては、分かりやすいのではないかと思います。</p>
近 藤 委 員	<p>私は、皆さんのお話を聞いて、帝国書院に変えようと思います。</p> <p>本田委員のおっしゃっていたように、知識、技能を身に付けるための教科書という観点で見ると、教育出版が見慣れた感じのように思いました。</p> <p>帝国書院は、滝山委員もおっしゃっていましたが、地図への活用が出されていて、いろいろなところで地図上での写真を確認してみるものが設定されていることが興味深かったです。SDGsのこともしっかりと書いてあったので、私の気が付かないところを皆さんから聞いて、ああなるほどなどと思ったので、帝国書院を選ぶことに異論はないです。</p>
山 崎 委 員	<p>帝国書院と教育出版のどちらかという見方をしていました。帝国書院は、節や章末の振り返りの取扱いが丁寧で、良い教科書だと思います。</p>
教 育 長	<p>私も、教育出版と帝国書院を選んで、最初の印象だと教育出版の方が良かったです。非常に今回の教科書づくりとしては、全教科なのかかもしれませんが、工夫されている点がいろいろと見られました。しかし、帝国書院の地理の教科書の内容といいますか、特にいろいろと調査して考えたり、解決をしたりという工夫なされていたと思います。悩みましたが、私は変更せず、帝国書院が良いと思います。</p> <p>少し考えを掘り下げてお伺いしたところ、全体として優劣付けがたいという御意見がある中で、最終的に帝国書院ということによろしいのではないかという意見になったと思います。地理については、審議の結果、帝国書院に決定することによろしいですか。</p>
各 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>それでは、地理は帝国書院に決定します。</p> <p>続きまして、地図の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思えます。</p>
本 田 委 員	<p>私は、帝国書院が良いと思いました。</p> <p>地図活用の視点、課題提示が明記されているところ、学習活動の充実につながる可能性を大いに感じました。また、領土における日本の押さえが記載されており、そこにも配慮されていると思っております。</p>
滝 山 委 員	<p>私も、帝国書院が良いと思います。</p> <p>まず、資料が充実していて、地図だけではなく、産業等の勉強にもなります。それから小学校との連携、地図帳の使い方など、詳しく述べられていたと思います。</p>
近 藤 委 員	<p>私も、帝国書院を選びました。</p> <p>両者見比べたときに、まず帝国書院の方が地図として色彩がはっきりしていて見やすいというのが、まず第一印象でした。それと「地図の活用」というワンポイントが示されていて、生徒たちが活用しやすくなっていると思います。また、小学校の復習を重視している部分が多くて、地図帳を目一杯活用して学習するには使いやすい教科書だと思います。</p>
山 崎 委 員	<p>私も、帝国書院が良いと思いました。</p>

教 育 長	<p>地理と同じ視点で見えていましたが、小中連携については、デジタルコンテンツなどで工夫がされており、中学校においても円滑に学習ができるのではないかと思います。</p> <p>私も、帝国書院と考えました。</p> <p>複数の資料を関連付けて、情報を読み取る力が必要だと思っているのですが、地図の活用のコーナーを設けたり、「石狩平野の土地改変」など、2つの年代による地図の違いを読み取らせる活動が、日本各地の資料に位置付けられておりました。</p> <p>さらに、小学校で学んだ事項を振り返ることができるように、索引の使い方の説明や、都道府県の位置、名称の復習もあり、専用のWebページに小学校の学習内容を確認する「小学校の復習をしよう」という内容もありました。</p> <p>そのような特徴に加えて、全体を通して基本的事項の学習や多面的・多角的な考察力を育成する工夫、それから資料・データの活用、確認、まとめなどの工夫もあったことと、大判で、内容も網羅されていて地図帳として使いやすく見やすい形になっていると評価をいたしました。</p> <p>ここは皆さんの意見が一致したところでございます。地図については、審議の結果、帝国書院に決定することよろしいですか。</p>
各 委 員 長	<p>はい。</p> <p>それでは、地図は帝国書院に決定します。</p> <p>続きまして、歴史の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思っております。</p>
本 田 委 員	<p>私は、教育出版を選びました。</p> <p>前回の話の中で、滝山委員から日本の動きと世界の動きが連動されている教科書についてのお話があったのですが、教育出版は、その視点で見たときに、学習のまとめと表現という項目では見やすく、まとめる体裁というのの一つ秀でていたように思います。</p>
滝 山 委 員	<p>私は、帝国書院が良いのではないかと思います。</p> <p>帝国書院と教育出版のどちらが良いのかということで読みました。本市生徒にとっては、社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力の育成、あるいは適切な資料を選択したり、関連付けて情報を読み取る力の育成等が課題であると書いていますが、帝国書院は、「多面的、多角的に考えてみよう」が設定されており、そのような見方を培うための方向性が見られました。また、章の終わりに振り返りの問題があるのですが、詳しく書いていて、その章の全体的な流れが分かるように工夫されておりました。生徒の知識や思考力、判断力を伸ばすのに、手助けになるものと思われました。</p> <p>同じく、教育出版はタイトルが良いですね。例えば、「宗教の誕生」というように、その最初のタイトルで生徒を引き付ける工夫もされているので、どちらかといえば帝国書院ですが、教育出版も良かったと思います。</p>
近 藤 委 員	<p>私は、教育出版を選びました。</p> <p>私も教育出版と帝国書院で迷って読み比べましたが、本の構成などは学習課題が明確で、確認、振り返り、表現して学力の定着を促すというのはどちらも同じように感じました。</p> <p>そこで何か違いを探すととなったときに、教育出版は小学校で学んだ人物などが、一目で分かるようなマークが付いていました。また、前回の絞り込みのときにも発言しましたが、タイトルにその時代の特徴や事件などが盛り込まれていて、これは歴史に興味のない生徒でも、興味を持てるものだと思います。勉強は教科書を読むこと、それだけで苦痛になってしまっただけは何も頭に入らないので、どのような内容なのだろうと興味を持つことが大事なのかと、歴史については思いました。</p>
山 崎 委 員	<p>私は、帝国書院を選びました。</p>

教 育 長	<p>各ページの横に掲載されている時代の年表が、教科書を開いたときに読みやすく、時代のイメージがしやすいと思いました。また、学習の振り返りについては、「確認しよう」と「説明しよう」の二つが設定されており、工夫がより感じられました。</p> <p>私は、教育出版としました。</p> <p>帝国書院と教育出版で考えておりました。帝国書院は、多面的・多角的に考えるという面では非常に特徴がありました。特設のページを設けていたり、随所にその歴史を多面的に考える工夫があるという意味では、帝国書院はその部分は特化していると思いつつも、全体としての評価でいうと、教育出版の方が望ましいと考えました。</p>
本 田 委 員	<p>一つは、様々な工夫がされている点です。「学習のまとめと表現」に、各時代の特徴、時代間での変化を考えるような工夫があったり、それぞれの絵、写真など資料の比較を含めて、時代の変化に非常に重きが置かれていたり、日本の動きと世界の動きを並べた年表や、山崎委員がお話されていた各ページの横に載っている年表は帝国書院にはあるのですが、まとめの部分には、教育出版がしっかりと世界と日本との動きの比較の年表を分かりやすく示されていたと思っています。また、「歴史を探ろう」では、人口やリサイクルなど、いろいろなテーマを設定して、時代ごとの歴史を知ろうという工夫がされていることで、そういった意味では、多面的・多角的な考察にも配慮していることも含めて、総じて、教育出版と考えたところであります。</p> <p>今一巡した中では、教育出版が3人、帝国書院が2人となりました。二巡目ということで、改めて皆さんから御意見を聞ければと思います。</p>
滝 山 委 員	<p>細かいことではありますが、生徒が理解しやすい例を挙げるとすれば、太平洋戦争中の国際関係を図式化して教科書に載せているのは、教育出版が一番分かりやすかったです。歴史の学習において近世・近代は、あまり扱う時間はありません。しかし、この時代を学ぶことも重要ですので、そこにも配慮しているのは教育出版だと思いました。人類が生まれてからの歴史というように、全体的に考えたときには、先ほども言いましたが、文章の内容がなじみやすく、生徒に届きやすい文章になっていると思いました。</p> <p>親しみやすさで言えば教育出版ということで、歴史が好きな生徒は、教科書に加えて参考書も活用するので、入門書という意味では、教育出版の方が良いと思います。高校では、世界史と日本史の両方を詳しく授業しないと思うので、そういう意味では、満遍なく書かれており、幅広い知識をもたらしてくれるのではないかと思います。</p>
近 藤 委 員	<p>両方とも良い教科書でありますので、教育出版でももちろん問題ないかと思っています。</p> <p>私は、変わらず教育出版を推したいと思います。</p> <p>滝山委員のお話のとおり、生徒が興味を持って、歴史をもっと深く勉強したい生徒は教科書以外の教材も活用していくと思いますので、まず入門編で、興味を持って学んでいくということから、一番良いのではないかと思います。</p>
山 崎 委 員	<p>教育出版も良い教科書だと思います。</p> <p>教育出版も学習のまとめについて、日本と世界の年表が分かりやすく、良いものだと思います。また、小学校で学んだことの振り返りも充実していると思います。</p>
教 育 長	<p>南京事件や皇民化政策、領土問題も見た中では、教育出版の方が誤解を招かない記載をしていると思いました。</p> <p>再度、御意見をお聞きし、全体として優劣付け難い部分もありましたが、最終的に教育出版ということによろしいのではないかという意見になったと思います。歴史については、審議の結果、教育出版に決定することによろしいですか。</p>

各 教	委 育	員 長	はい。 それでは、歴史は教育出版に決定します。 続きまして、公民の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思 います。
本	田	委 員	私は、教育出版としました。 しかし、候補に帝国書院も残っているので、こちらも少しお話したいと 思います。巻末に「防災・減災を通じた社会参画」というページがありま すが、これは地理で学ぶ内容だと思っていて、同じ項目が2つもいない と思っています。 教育出版の特徴は、三権分立について、項目を挙げて載せていたところ です。加えて、索引への配慮も丁寧でした。なぜなら、SDGsのような 省略形のを、正しくはこういう長い名前だけれど、略称はこうですみ たいな注釈付きの索引でしたので、生徒にとっても分かりやすく、ただ単 語を載せられるよりは良いと思いました。 なお、SDGs、持続可能な17の目標については、教育出版は2ペー ジ扱ってますので、やはりそこに足場があり、まさにこれからの社会科の 勉強をしていくのかなと思ったところです。
滝	山	委 員	私は、教育出版が良いと思います。 各章の始めに、「学習のはじめに」という詳しい説明が載っています。 これを読むことによって、この章で何を学ぶかが見通せること、内容も十 分書いてあって、「言葉で伝え合おう」など、ディスカッションなどをす る場面も工夫されています。また、「学習のまとめと表現」で、確認の仕 方も工夫されていて、公民の教科書としては、教育出版が良いのではない かと思いました。
近	藤	委 員	私も、教育出版を選びました。 皆さんのお話と同様になりますが、まず最初に公民の学習の意図が明確 に記載されていて、情報収集の方法が詳しく書かれていることと、生徒た ちの合意形成という観点について、どれも遜色はないのですが、「確認」、 「表現」という形のもので、考えて伝えて話し合うプロセスが明確に示さ れていること、章ごとの振り返りで学習項目の定着を図るということで、 東京書籍と教育出版と帝国書院とで見比べたのですが、いずれも網羅され ていたと思います。しかし、SDGsのことや、メディアとの関わり、そ して公民は、世の中の状況を読み取らなければならない、刻々と変わって いく中での分野の教科だと思います。そういうところでメディアからの情 報の収集の仕方やそれを読み取り、どう活用していくかということが、教 育出版には書かれていたと思います。
山	崎	委 員	私も、教育出版だと思いました。 見開きのところに、小学校の学習内容が掲載されていること、また、皆 さんもお話されていますが、学習の導入からまとめまで分かりやすく工夫 され、使いやすいものとなっております。
教 育	長		私は、帝国書院を選びました。 巻頭で公民分野の学習の全体像を示していたり、「学習の前に」で、小 学校との関連、そして章、部で学ぶ見通しを持たせて、導入部分が非常に 丁寧な構成になっていること、それから、人権、民主主義、生活、経済な どの内容に偏りがなく、バランスが取れています。さらに、多面的・多角 的な考察が可能で、各章の最後にある「章の学習を振り返ろう」で、学ん だ知識や考え方を整理する工夫がされていることと、「技能をみがく」で、 新聞の見方、活用の説明、それから意見の整理の分析の手法で課題を考 えて情報を活用するための基礎的な技能を身に付けることにも工夫がされ ているため、帝国書院にしたいと思いました。 今一巡した中では、私以外の皆さんが教育出版ということでもありますの で、改めて私の方から追加で、帝国書院と教育出版の違いについてお話さ

せていただきます。帝国書院には、各章の冒頭に、話し合うというような活動の位置付けがありませんでした。また、教育出版はノートづくりの説明もしていますが、帝国書院はそういった部分がありません。さらに、それぞれのページに「確認」や「表現」で、しっかり確認する工夫が教育出版にはありました。以上の点で、教育出版も優れている面があると認識しておりましたので、皆さんの意見と同様に、私も教育出版としたいと思えます。

結果的に、教育出版が全員の意見一致ということで、公民については、審議の結果、教育出版に決定することによろしいですか。

各 委 員
教 育 長

はい。

それでは、公民は教育出版に決定します。

続きまして、数学の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思えます。

本 田 委 員

私は、教育出版を選びました。

小学校からの積み上げ教科と申しますか、そのような観点から、教育出版が一番生徒になじみがあると思えます。

また、課題解決型の学習の観点で、学習過程に沿った並び順になって目を見張るものがあり、これまでの旭川市の生徒の実態、数学的に表現、処理したりする技能の習得であるとか、計算技能の定着とか、そういう部分では、やはり慣れたものが良いと思えます。とりわけ教育出版が課題解決型の学習を否定しているわけではありませんし、振り返りや確かめの活動も充実していたように思えます。

また、箱ひげ図について、私たちは習ったことがない、新たな内容についても、他者と比べると分かりやすく印象に残りました。

滝 山 委 員

私も、教育出版です。

一つは、小学校とのつながりが良いということ。それから、本市の生徒の課題である、数学的な表現、学習内容の確実な定着に関して、現在使っている教育出版は全般的には、ある程度理解しやすいのではないかと申すお話が小委員長からもありました。そのため、今旭川市では、数学をこれからもう少し着実なものにするためには、難しいものにチャレンジするより、着実に学んでいくことができるよう、教育出版が良いと思えます。

近 藤 委 員

私は、教育出版を選びました。

大日本図書は「ノートの作り方」が他に比べて分かりやすかったことと、数学的な興味をひく内容が盛り込まれていました。「活用・探求」で、仕事の中で数学がどう活用されているかや、世界にどうつながっているかということが書かれていました。また、巻末の「MATHFUL」が興味深くて、いろいろな数に関するコラムが書かれていて、数学好きには面白い教科書だと思えます。

教育出版は、小学校との連携ももちろんありますが、数学の教科書としてはバランスの良いもので、まず章の始めの「Let's Try」で、これから学ぶ内容、それからこのような数学的な内容を学びますよという興味を持たせる問題があることが、他とは違ったと思えます。導入部分でそういうゲーム感覚のものに取り組んでから学習に入っていくことは良いと思えます。また、章ごとにまとめが分かりやすく示されていること、全体的な流れで数学的な考え方を、見通しを持って順序立てて勉強していけるというつくりでは、一番優れていると思えます。

以上のことから、教育出版は旭川市の生徒の学力を更に向上できる教科書になっていると思えます。

山 崎 委 員

私も、教育出版が良いのではないかと申す思えます。

皆さんと同様となりますが、小中連携の視点から、教育出版は巻頭から巻末まで随所に小学校との関連を設定しており、そこが他よりも丁寧で良いものと思えます。

教	育	長	<p>私も、教育出版と考えました。</p> <p>各章の前段に「学習する前に」で、小学校で学んだ関連内容の確認、あと近藤委員からもお話がありました。が、「Let's Try」の設定で、まずは導入部分を非常に丁寧に入っていく工夫があったり、また、説明の中で確かめの問題でゆるやかにステップアップしていくといいますか、あまり難しい問題まで飛ばないということ、また、章末に振り返りの学習のまとめ、それから章の問題というような設定もあり、学習内容をしっかりと理解できるよう丁寧な構成になっていると感じました。</p> <p>さらに、「学びのマップ」で小学校での学習との関連性に配慮されていたり、「数学の広場」で、数学を活用する態度の育成も含めて、本市生徒の学習の状況に適していると考えました。また、数学的表現を用いて、説明する力を育むことができるように、算数で学んだ数学的思考方や、数学の学習に必要な考え方の例示の工夫があったと思います。このため、教育出版が望ましいと考えました。</p> <p>ここは皆さんの意見が一致したところでございます。数学については、審議の結果、教育出版に決定することよろしいですか。</p>
各	委	員	<p>はい。</p> <p>それでは、数学は教育出版に決定します。</p> <p>本日の予定は、数学までということであり。今日予定していた種目については、皆さんの真摯な御議論の中で、1者に決定できたところでございます。次回は、残りの種目について採択を行いたいと思います。</p> <p>また、昨年度採択しました小学校用の教科用図書、特別支援教育に係る拡大教科書、学校教育法附則第9条に規定の教科用図書の採択についても御審議いただきたいと考えておりますので、併せてよろしく願いいたします。</p>
教	育	長	<p>《 そ の 他 》</p>
各	委	員	<p>他に、何かありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>ありません。</p>
事	務	局	<p>それでは、以上で令和2年8月定例教育委員会会議を終了いたします。</p>
教	育	長	<p>《 閉 会 》</p>